

1. 活動状況

団体名	NPO小樽ワークス
対象事業	歴史的資産の保全・再生・活用
事業名	坂牛邸復元計画プロジェクト
事業目的	旧坂牛邸を保存再生活用する事業を通じて、小樽市内の歴史的建造物とまちなみの保存再生活用を中心としたまちづくり活動を行ない、新たなコミュニティの場を創造することと目的。
実施期間	平成21年6月～平成22年3月
実施活動内容	<p>2008年10月に大風で2階の窓が破損し、2009年から専門家を交えた「検討会議」を設置し、具体的な検討事項として窓の復元プランを検討、歴史考証などを背景として、当時の技術や工法を現在の工事技術に置き換え、実践的な方法を検討することができた。</p> <p>工事代金については損害保険の適用を受けることができたので、改修工事費用の問題はなかったが、当該助成金で「検討会議」での成果として、①窓枠の割付、施工工事の検討や考証 ②検討会議の設置や運営に関する経過の整理 を資料化することができた。他に、それを契機として検討材料のベースとなるよう、駒木研究室より建物の実測データを提供してもらうことができた。</p> <p>提供されたデータを元に、原因を作成し、検討会議での話し合いを元に、全体復元計画の構想の整理を行った。全体の全体復元計画に対して、「田上義也記念室」のオープンという具体的な目標を立てて、電気と設備関係の計画を組み立て、工事箇所の内容を検討し、工事を実施した。検討内容や残された課題について、資料化した。</p>
今後の課題 将来計画等	<p>① 工事予算の捻出（市民活動ベースなのでお金がない。これは、一般市民も同じ）</p> <p>→基金の設立や寄付キャンペーンの実施</p> <p>→工事事業者をどう選択するのか？技術的な継承を意識する。</p> <p>② 項目の優先順位付け（できることからやるのか？基本的な順に進めるべきか？）</p> <p>→会員のモチベーションにも関わるが、全体構想とちぐはぐになるのは避けたい。バランスが大事。</p> <p>→検討会議での更なる協議が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 報告書を進化させ、「保存改修検討の軌跡（仮）」などの冊子を作成し、関係機関への情報提供の実施。 ● オーナーや建築士などを対象とした、保存活用に必要な改修工事のポイントなどの勉強会の開催。 ● 改修プラン計画策定後、助成財団など関係団体への工事費用の協力依頼の実施。 ● 改修工事のための寄付キャンペーンの展開、基金の設立の準備。 ● 優先順位別に、改修工事の着工。



<保存再生を検討し始めた当初の坂牛邸の内部写真>



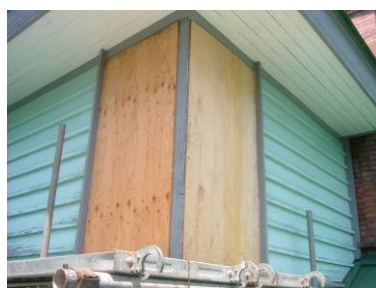
<専門家や事業者、建築士を交えて、小樽ワークスメンバーでの検討会議や勉強会などを開催>



<坂牛ご夫妻を交えて、小樽ワークスメンバーで聞き取り調査と現存しているものの確認作業など
>



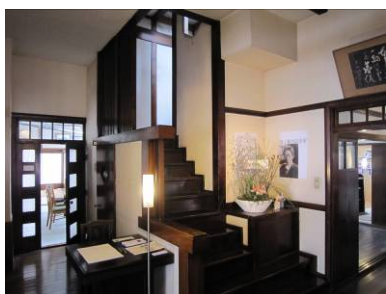
<坂牛ご夫妻から提供された古い写真から、復元考察を行なった>



<破損した窓の部品から考察し、復元工事を行なった>



<照明計画を組み立て、設備工事を行なった>



<照明計画の元、電気設備工事や給水・設備工事を終えて、開館した田上義也記念室>